



混雑を避けて道路を快適に走行しませんか

交通集中の緩和に向けた交通需要マネジメント(TDM)の取り組みにご協力ください。

京浜大橋周辺地区における渋滞発生メカニズム

事業所等を発着する車両と国道357号を通行する車両が連鎖的に渋滞を引き起こしています。

①事業所等から国道357号へアクセスする車両が集中



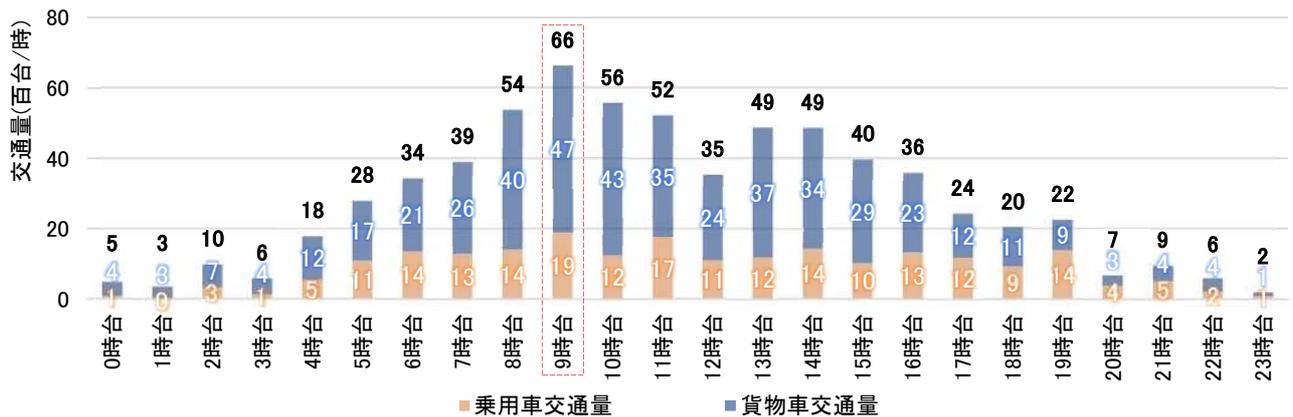
②国道357号を通行する車両と交錯し、各交差点で渋滞発生



③渋滞が隣接する交差点まで延伸し、大規模化



京浜大橋周辺地区を発着する自動車交通量



出典:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査結果 京浜大橋周辺地区 (Bゾーン大田5,6,7,8区)のOD交通量を集計(有効数字2桁で丸めた値)

京浜大橋周辺地区の交通特性

- 京浜大橋周辺地区は、製造業や物流施設など多く企業が立地・集積し、貨物車交通量が多い。
- 貨物車の交通量は9時台が多く、乗用車の交通に加えて貨物車が集中しており、大規模な渋滞が発生しやすい。

渋滞緩和の取り組みへのご協力をよろしくお願いします。 詳しくは裏面へ

TDM(交通需要マネジメント)とは？

車や道路の使い方を工夫する取り組みです。

TDM(交通需要マネジメント)は、車や道路の使い方の工夫(交通需要の調整)をすることで、道路の交通混雑を緩和する取り組みです。

● 皆さま一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です ●

TDMの実施には、皆さま一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。TDMは、地域全体で取り組むことによって、効果をあげることができる取り組みです。

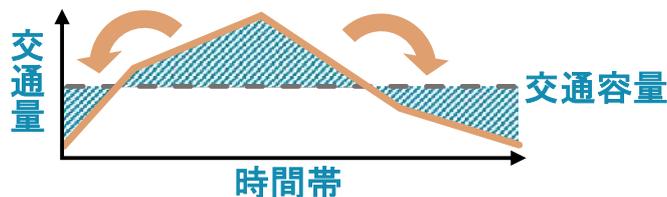
渋滞緩和のためにすぐに取り組めること

渋滞緩和のためにすぐに取り組める5つのメニューがあります。可能な範囲でのご協力をお願いします。



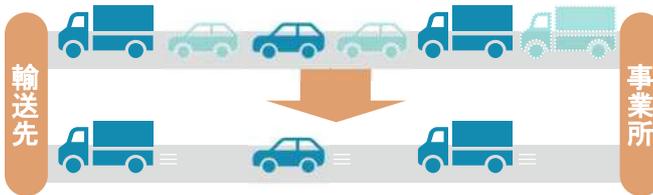
移動時間帯の変更

ピーク時間帯からずらして出荷・納品することで、渋滞緩和に寄与します。



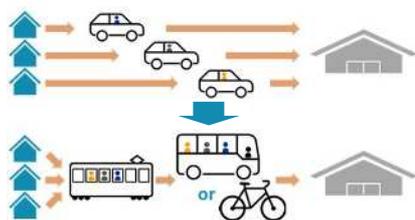
利用経路の変更

利用する経路を変更することで、交通が分散し渋滞緩和に寄与します。



公共交通機関の利用

マイカーから公共交通機関の利用へ変更し、渋滞緩和に寄与します。



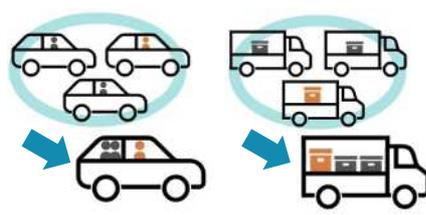
移動発生源の調整

テレワークやWEB会議等を促進することで、通勤による交通発生を削減できます。



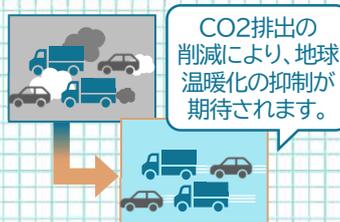
自動車の効率的利用

カーシェアリングの利用や共同輸配送の導入により、渋滞緩和に寄与します。



渋滞緩和に加えて、「CO₂排出の削減」や「労働時間の改善」も期待されます。

CO₂排出の削減



労働時間の改善



連携ホームページ



国土交通省 関東地方整備局
東京国道事務所

国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所

大田区 都市計画課

東京都移動性向上委員会

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 計画課
東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎15階 ☎03-3512-9093